

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 22 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏 名	サムエル・ギルダート
研究課題	日蒙経済関係：モンゴル経済発展事情と日蒙 EPA の研究				
研究キーワード	金融機関、国際経営、貿易関係、FTA、地域研究	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	10. 人や国の不平等をなくそう	

1. 研究成果の概要

本研究においては、日本とモンゴル貿易関係また、モンゴルの経済発展事情と日蒙 EPA（Economic Partnership Agreement：経済連携協定）の視点から日蒙関係について焦点を当てている。具体的には、貿易の関税緩和や資源開発援助とインフラ発展などである。

ところが、本年度は、別の学会報告（海外と国内）の影響により、全ての計画が当初通りすすまなかった。それで、学会準備のために多くの時間が割かれ、満足のいく研究成果が出せなかった。2024 年度は、個人研究費を有効に利用し、成果を上げる予定である。

2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）
【論文（査読あり）】

（1）国際学会：20th Anniversary AILA World Congress Lyon Edition

The École Normale Supérieure de Lyon (ENS Lyon, France)にて、2023 年 7 月 17-21 日まで開催された「20th Anniversary AILA World Congress Lyon Edition」で「Machine Translation is Changing English Education in Japan: What will English teachers do in the age of evolving AI?」という共同報告した。

Hirofumi OHKATSU Shien SAKAI

【著書・論文（査読なし）】

（2）雑誌記事 “A SUMMIT LIKE NO OTHER”

在日カナダ商工会議所季刊誌「ザ・カナディアン」2023 年夏号第 23 巻 3 号 The Canadian, Quarterly Magazine of the Canadian Chamber of Commerce in Japan, Vol. 23, Issue 3, Summer 2023 に掲載である「A SUMMIT LIKE NO OTHER」というタイトルの記事で昨年の広島市で開催された「G7 広島サミット（G7 2023 Hiroshima Summit 2023）」について作成したものである。

【学会発表等】

（3）国内学会 2023 年度生活経済学会関東部会 於：東洋学園大学

2023 年 11 月 25（土）東洋学園大学における 2023 年生活経済学会関東部会で「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会が日本経済に及ぼした効果（The Economic Impact of the Rugby World Cup 2019 on Japan）」というものを報告した。

3. 主な経費

学会発表、関連書籍の購入や文具代に使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし。

（本文は2ページ以内にまとめること）